

2009年度下期未踏IT人材発掘・育成事業（未踏ユース）



DTM(Desktop Music) ソフトウェアによる 作曲活動の盛り上がり

DTM 初中級者は全てのパート（ギター、ピアノなど）の楽器知識が無いことが多い。そのため、他の作曲者と作曲を行うことで質の高い楽曲を作曲できると思われる。

背景

コミュニティを用いたオンライン協調作曲 支援システムの構築

不足する楽器知識を補完してくれる作曲者の存在が必要である。しかし、自分の友人だけでは都合よく求める作曲者がいる訳ではない。そのため、既存 SNS を利用した作曲者コミュニティを構築する。

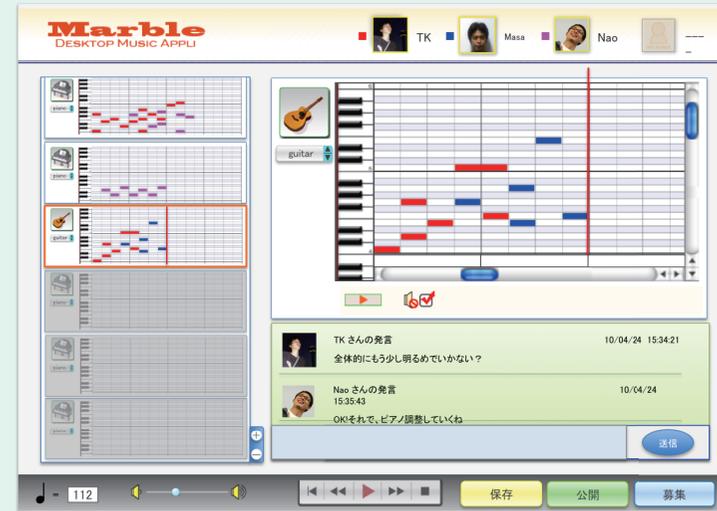
目的

質の高い楽曲が生まれる 不得意な楽曲パートの学習効果

共同作曲時間の短縮や複数人での作曲活動により質の高い楽曲が生まれると考えられる。さらに、他者の作曲方法から自然に身につける相互学習の効果が期待できる。

期待される効果

View
スペース



参加者パネル

楽譜エディタ

操作パネル

1. 複数人の作曲支援

右上に協調作曲を行っている作曲者の一覧を参加者パネルに表示する。楽譜エディタ上のノートに色を割り振り、作曲者を特定できるようになっている。

2. 複数トラックでの作曲活動支援

複数のトラックを確認しながら、円滑に作曲活動を行うために、ビュースペースと編集スペースを利用する。ビュースペースで複数トラックの作曲過程を閲覧しながら、編集スペースで作曲活動を行う。

3. 作曲後の利用

作曲活動後は保存、外部への公開、不足する楽器パートの募集、などの機能を実装している。

mixi ミクシィ

